

2016年(平成28年)3月期 第2四半期(中間期)決算の概要

株式会社ゆうちょ銀行
2015年11月13日

中間決算の概要

当中間期の経営成績

(億円、%)

	2016/3期 中間	2015/3期 中間	増減
業務粗利益	7,594	8,214	△ 619
資金利益	6,994	7,771	△ 776
役務取引等利益	469	445	+ 24
その他業務利益	131	△ 2	+ 133
経費 ※1	5,316	5,651	△ 334
一般貸倒引当金 繰入額	△ 0	—	△ 0
業務純益	2,278	2,562	△ 284
臨時損益	238	167	+ 71
経常利益	2,516	2,730	△ 213
中間純利益	1,715	1,817	△ 101
経常収益	9,871	10,309	△ 438
経常費用	7,354	7,579	△ 224
貯金残高 ※2	1,771,310	1,779,465	△ 8,154
単体自己資本比率 (国内基準)	30.45	44.91	△ 14.46

概要

- 当中間期の業務粗利益は、前中間期比619億円減少の7,594億円。
資金利益は前中間期比で減少、役務取引等利益、その他業務利益は前中間期比で増加。
- 経費は、預金保険料率引き下げを主因に、前中間期比334億円減少の5,316億円。
- 歴史的な低金利が継続する厳しい経営環境下、業務純益は前中間期比284億円減少の2,278億円、経常利益は前中間期比213億円減少の2,516億円。
- 中間純利益は1,715億円、前中間期比101億円の減益。
通期業績予想の当期純利益3,200億円に対し、53.6%の進捗。

(億円、%)

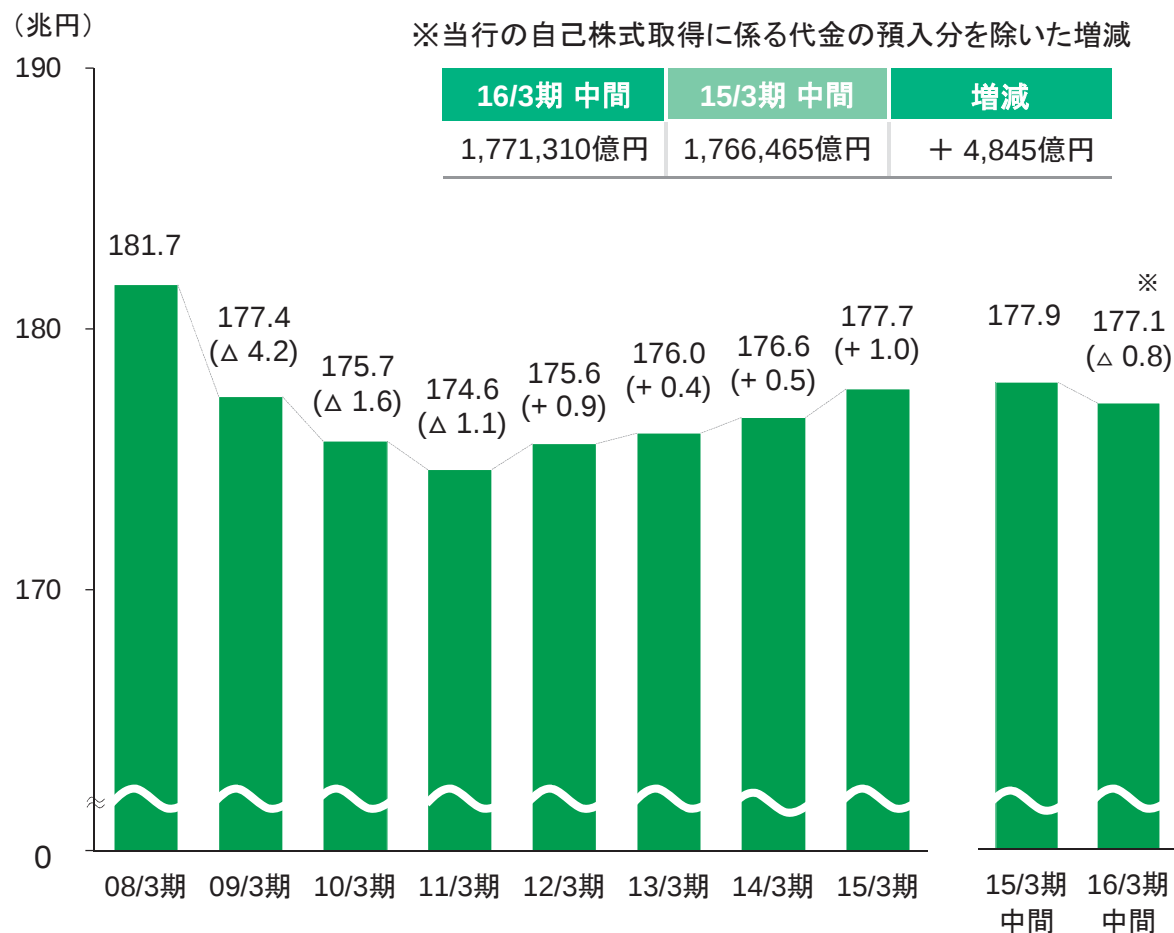
	2016/3期 中間	2016/3期 通期業績予想	進捗率
経常利益	2,516	4,600	54.7
当期(中間)純利益	1,715	3,200	53.6

※1 臨時処理分を除く。 ※2 未払利子を除く。

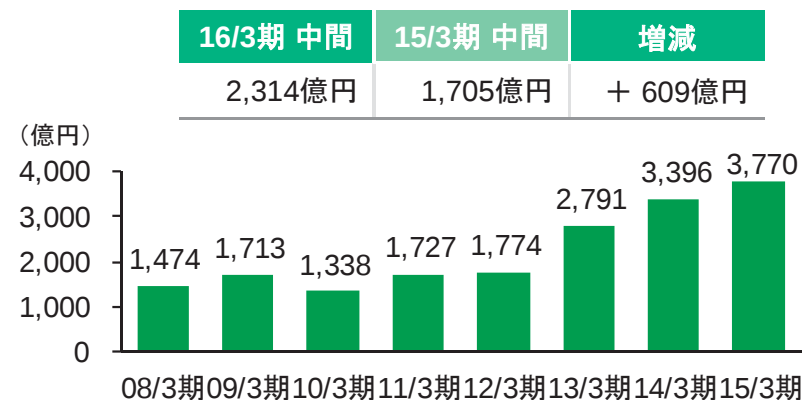
営業の状況

- 当中間期末の貯金残高は177.1兆円。当中間期の投資信託の販売が2,314億円、変額年金保険の販売が480億円。

貯金残高(各期末)

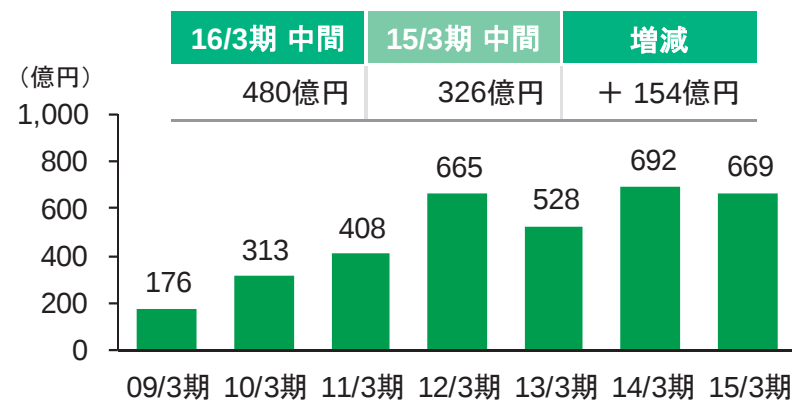


投資信託 販売金額(各期)



注：08/3期は2007年10月1日から2008年3月31日までの金額。

変額年金保険 販売金額(各期)

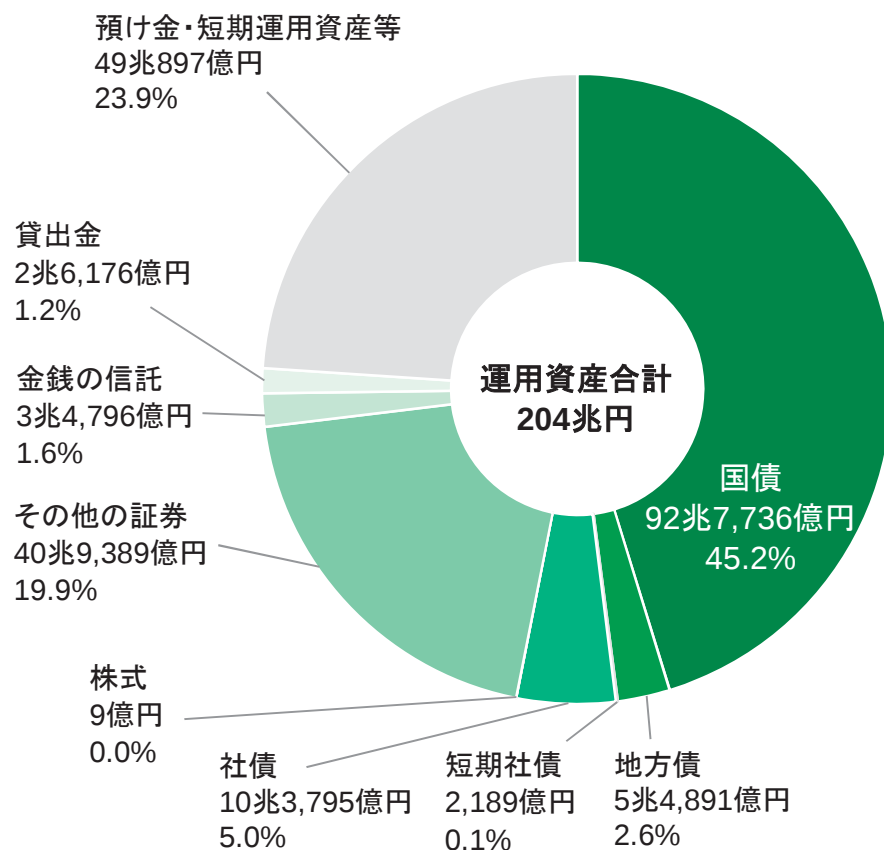


注：2008年5月29日に業務を開始。

注：小数第2位以下の端数は切捨て。

資産運用の状況

■ 運用資産は、国債等の有価証券が149.8兆円、貸出金が2.6兆円。



(億円)				
区分	16/3期 中間	構成比 (%)	15/3期	構成比 (%)
貸出金	26,176	1.2	27,839	1.3
有価証券	1,498,011	73.0	1,561,697	75.8
国債	927,736	45.2	1,067,670	51.8
地方債	54,891	2.6	55,251	2.6
短期社債	2,189	0.1	2,269	0.1
社債	103,795	5.0	107,560	5.2
株式	9	0.0	9	0.0
その他の証券※1	409,389	19.9	328,936	15.9
金銭の信託	34,796	1.6	34,916	1.6
預け金・短期運用 資産等※2	490,897	23.9	434,199	21.0
運用資産合計	2,049,881	100.0	2,058,654	100.0

※1 「その他の証券」は外国証券。

※2 「預け金・短期運用資産等」は譲渡性預け金、日銀預け金、コールローン、債券貸借取引支払保証金、買入金銭債権等。

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、市場金利や外国為替相場の変動等、様々な要因により大きく異なる可能性があります。